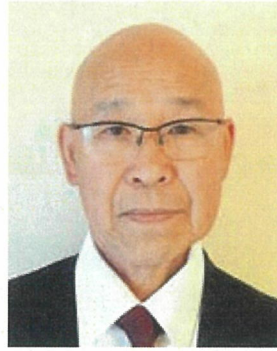


恵那保護区保護司会 会長 栗原 芳弘



保護司は、明治期の<sup>きんばらめいぜん</sup>金原明善らが静岡県で始めた取り組みが源流とされています。海外からも注目されており、法務省は、アジアやアフリカで制度の導入を支援しています。

昨年12月3日、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える保護司の安全対策や担い手確保策を盛り込んだ改正保護司法が、参議院本会議で可決、成立しました。改正法は、保護司の人脈頼りだった人材確保を、保護観察所長の責務と明記するとともに、適任者の条件を「社会的信望を有する」から「人格識見高い」とし、担い手の心理的ハードルを下げました。

また、民間企業や地方自治体による保護司や保護司会への協力を「努力義務」とし、休暇取得や活動場所の確保といった配慮が促されています。

保護司の高齢化は深刻で、昨年1月1日時点で46,000人の8割が60歳以上です。そのため、新任の保護司の方を是非ともご推薦賜われれば、幸いに存じます。

# 恵那保護司会だより

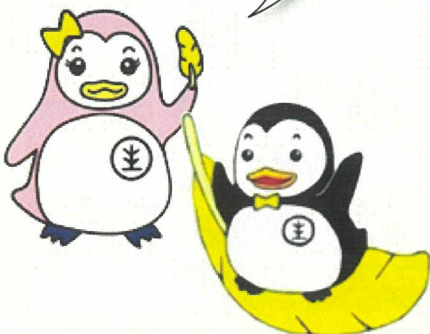
令和8年4月発行  
更生保護  
サポートセンター恵那  
恵那市長島町正家1-3-21  
恵那市民会館内(1F)  
TEL 0573-25-6010

**保護司とは** 法務大臣が委嘱する更生保護のボランティアで、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことのないようその立ち直りを助けるとともに、犯罪予防のための世論の啓発に取り組むなど、安全・安心な地域社会づくりのために活動しています。

- 保護司の活動**
- 1 保護観察になった人への助言や指導
  - 2 刑務所や少年院にいる人の出所後の生活環境調整
  - 3 地域での犯罪予防のための啓発・宣伝活動
  - 4 その他犯罪予防のために自治体などの関係機関・団体との連携・協力など

**保護司の数** 全国の保護司の定数は52,500人です。

現在、恵那市には、  
法務大臣から委嘱された  
保護司が24名(定員26名)  
います。



瑞宝双光章

岡庭 隆 保護司



藍綬褒章

木村 謙三 保護司

令和7年春(4月29日)・秋(11月3日)の叙勲・褒章が発令され長年、更生保護功労・功績により両名の保護司が受章されました。

叙勲及び褒章は、長年にわたり社会や公共のために尽力された方々に、国が栄典として授与するものです。

# 第75回 社会を明るくする運動

令和7年7月1日(火)

「社会を明るくする運動」は、昭和26年から始まりました。すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

令和7年7月1日(火)「社会を明るくする運動」強調月間のスタートに当たり、恵那保護区保護司会では、恵那市役所ロビーにて内閣総理大臣からのメッセージを小坂市長に、岐阜県知事のメッセージを岡田教育長に伝達し、協力をお願いしました。



内閣総理大臣のメッセージを小坂市長に



街頭啓発活動

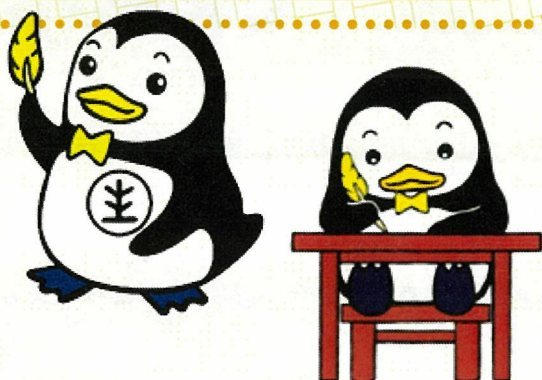
## 社会を明るくする運動 作文コンテスト

次代を担う小中学生が日常生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことを作文に書くことを通じ、「社会を明るくする運動」に対する理解を深めることを目的として令和7年度も実施しました。

### 恵那保護区内の入賞の皆さん

会長賞：山岡中 近藤 里虹 (2年)

会長賞：山岡中 森 結佳 (3年)



## 薬物乱用防止教室

令和7年度は、市内の小中学校8校実施しました。

明智中学校、山岡中学校、恵那東学校、恵那北中学校  
明智小学校、東野小学校、大井小学校、武並小学校

恵那保護区保護司会は、学校や保健所と連携して「薬物乱用防止教室」を実施しています。私たちの脳は、20歳ころまで成長するといわれ、特に、小学生、中学生、高校生の時期は、心身ともに急速に発達するときです。薬物を乱用すると、脳や身体の成長がストップし、感情のコントロールできず、意欲がなくなるなど、心身の発達が損なわれます。

子どもたちが、豊かで幸せな未来を築けていけるよう、今後も活動を続けていきます。

